



報道関係者各位
2026年3月9日
協和電工株式会社

RAIL HUB SHIZUOKA オープニングイベント開催のお知らせ — 鉄道をきっかけに、人とまちをつなぐ共創拠点が誕生 —

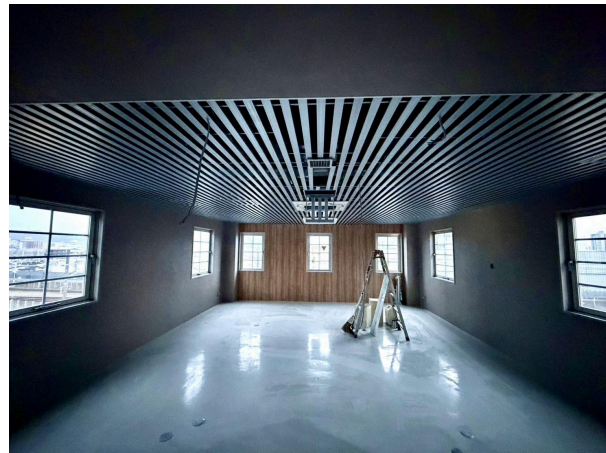
協和電工株式会社(本社:静岡市、代表取締役社長:野田祐輔)は、2026年4月18日(土)、自社ビル5階に共創拠点「RAIL HUB SHIZUOKA(以下、RHS)」を開設し、オープニングイベントを開催いたします。

RHSは、協和電工の鉄道関連事業を背景に整備された共創スペースで、「学びゾーン」と「イベント・共創スペース」の2つで構成されています。学びゾーンでは、鉄道インフラや技術を通して社会を支える仕事を体験的に学ぶことができ、イベント・共創スペースでは、教育機関、企業、地域団体などが自由に活用できる場として運営されます。

オープニングイベント当日は、協和電工代表取締役社長 野田祐輔の挨拶に加え、来賓として難波 喬司静岡市長をお迎えし、ご祝辞を頂戴する予定です。また、静岡大学 特任准教授 天野浩史氏によるオープニングトークも実施いたします。



※静岡県を連結部分に見立てて、施設が静岡のHUBになることを込めたロゴマーク



※建設中のRAIL HUB SHIZUOKA

コンセプト

RAIL HUB SHIZUOKAは、「鉄道」をフックに、人と人、まちと企業、現在と未来がつながる“共創的な交差点=RAIL HUB”を掲げる共創プラットフォームです。

鉄道が社会インフラとして人や地域を結び続けてきたように、この拠点もまた、多様な人やアイデアが行き交い、新しい価値が生まれる“ハブ”となることを目指しています。

子どもたち、学生、企業、行政、地域団体など、さまざまなセクターが「関わる」「作る」「学ぶ」「語る」ことのできる空間をつくり、鉄道の魅力を入口にしなが、地域の価値創造へと広がっていきます。

この施設の主役は「使う人」です。使う人同士が出会い、使う人とスタッフが交わり、RAIL HUBで生まれたつながりが新たな挑戦やプロジェクトへと発展していく。そんな循環を育てていきます。目指すのは、人が出会い、共創が動き出す場をつくることです。



利活用イメージ

- ・高校生や大学生による探究学習の発表・展示
 - ・鉄道や環境をテーマにしたワークショップ
 - ・若手社員と学生のキャリア対話セッション
 - ・地域団体やNPOによるイベント開催
 - ・企業の勉強会やビジネスミーティング
 - ・行政や大学との共創プロジェクトの拠点活用
- ※RHSは年齢や立場を問わず、多様な人が関われるオープンな場として展開していきます。



オープンと同時に始まる3つのプログラム

これらのプログラムは地域や企業、教育関係者など、想いを持った約20～30名のメンバーが集まり、「RHSで何をしたいか」「どんな場にしたいか」を共創的に話し合う場を継続し、2025年8月から毎月開催してきたワークショップを通じて生まれました。

RHSは、完成された施設ではなく、こうしたプロセスから生まれたアイデアや関係性を大切にしながら、今後も進化していく場でありたいと考えています。

1. 乗り物好きの子どもの居場所「テツラボ」

“好き”を入りに探究心を育てる子ども向けプログラム。安心して集い、語り合い、学べる場をつくれます。

2. 旅に出たくなるBar

毎回ゲスト講師を招き、話を聞いた後に自分の旅程を描き、参加者同士で交流する対話型プログラムです。

3. 仕組みチーム

RHSを持続可能な施設として育てるための運営モデルや共創の仕組みを参加者とともに考え、実践していきます。



※旅に出たくなるBarの第0回の様子

オープニングイベント概要

日時: 2026年4月18日(土) 13:00～17:00

会場: 協和電工株式会社 本社ビル5F RAIL HUB SHIZUOKA

プログラム(予定)※招待制となります。

13:00 協和電工株式会社 代表取締役社長 野田祐輔 挨拶

13:05 来賓ご挨拶(難波 喬司市長)

13:10 オープニングトーク 静岡大学 特任准教授 天野浩史

13:30 RAIL HUB SHIZUOKA ご紹介(R-pro 岡本ナオト)

14:00 「旅に出たくなるBar」体験プログラム

15:45 ネットワーキング

16:00 懇親会

17:00 閉会

■ RHSコアメンバープロフィール



野田 祐輔
協和電工株式会社 代表取締役社長

静岡市に本社を置く創業62年の鉄道電気工事・金属加工販売・産業廃棄物処理を手がける協和電工株式会社の三代目代表。「地域と共に歩む企業へ」を理念に、社内外のつながりを重視した経営を進めている。6年前から静岡市こどもクリエイティブタウン「ま・あ・る」などの地域イベントで、社員とともに鉄道の魅力発信に取り組んできた。その経験をもとに、業界理解と地域貢献のさらなる促進を目指し、本社5階に市民共創スペース「Rail Hub SHIZUOKA」の開設を決意し、現在プロジェクトを推進して

いる。

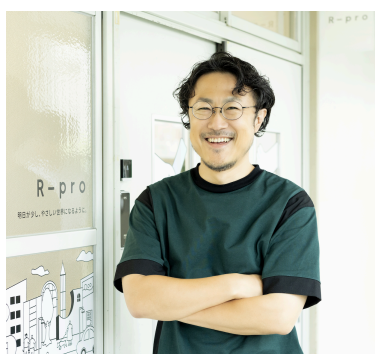


天野 浩史
静岡大学サステナビリティセンター特任准教授、NPO法人
ESUNE代表理事

1991年愛知県生まれ。静岡大学大学院人文社会科学研究所臨床人間科学専攻修了。修士(臨床人間科学)。専門はコミュニティマネジメント、主体形成論。

大学入学と同時に環境保全NPOで活動を開始。大学4年時に若者と静岡をつなぐ中間支援組織を仲間たちと立ち上げる。大学卒業後、求人メディア会社を経て、2016年2月にNPO法人

ESUNEを設立し、代表理事に就任。2022年4月より大学教員を兼務し、2025年3月より現職。静岡大学では多様なステークホルダーとの共創のデザイン・マネジメントを担当。



岡本 ナオト
株式会社R-pro

明日が少し、やさしい世界になるように」というPolicyを掲げ、社会課題の解決・改善、欲しい未来の実現を目的としたソーシャルブランディングに取り組む。2019年に廃校をインキュベーション施設にリノベーションした「なごのキャンパス」の運営団体の1社としてジョインし、2025年4月からは同施設のソーシャルプロデューサーに就任。2021年より一般社団法人シェアリングエコノミー協会東海支部長を務める。2025年4月にKIBOTCHAスマートエコビレッジDAO合同会社の代表社員となり、東松島にて1万人が暮らせるDAOとトークンエコノミーの構築にチャレンジしている。RAIL HUB SHIZUOKAでは地域共創・コミュニティデザインの視点からプロデューサーとして参画している。

プレオープンの開催について

4月22日(土)～4月25日(土)に、どなたでも自由に施設をご覧いただける「プレオープン」を開催いたします。

当日は、出入り自由で施設内をご見学・ご利用いただけます。RAIL HUB SHIZUOKAの空間や展示をご覧いただくほか、今後始まるプログラムの紹介や、実際の活用イメージについてもご案内いたします。

地域の皆さま、企業の方など、どなたでもお気軽にお立ち寄りいただけます。

日時 2026年 4月22日(水) 10:00～18:00
4月23日(木) 12:00～20:00
4月24日(金) 10:00～18:00
4月25日(土) 11:00～15:00

※予約不要・入退場自由

RAIL HUB SHIZUOKAの雰囲気をご体感いただける機会として、ぜひお越しください。

WEBサイト・お問い合わせ

RHS公式WEBサイト

<https://rhs.jp>

お問い合わせ

協和電工株式会社

RAIL HUB SHIZUOKA 事務局

MAIL: info@rhs.jp